

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和2年度 第2回
開催日時	令和2年9月29日（火曜日） 午後6時00分から7時30分まで
開催場所	田無庁舎 202・203 会議室
出席者	出席：小澤委員長、安田副委員長、井上委員、荻草委員、喜多野委員、小林委員、小松委員、笹川委員、篠宮委員、鈴木委員、平委員、中村委員、堀内委員、山田委員、山辺委員 事務局：白井課長、福田係長、藤野主査
議題	(1) 第1回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の評価について (3) その他
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 第1回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 西東京市男女平等参画推進委員会評価報告書（基本目標Ⅰ～Ⅳ）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【開会】</p> <p>○委員長：これより第2回男女平等参画推進委員会を開催する。 事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。 続いて事務局より配布資料の確認をした。</p> <p>（1）第1回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について</p> <p>自己紹介箇所について、2人の委員から自身の発言について発言の趣旨がより伝わるよう修正依頼があり。その他異議なく承認された。</p> <p>（2）西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の評価について</p> <p>○委員長：事務局から説明をお願いしたい。 ○事務局：前回、説明の時間が取れないまま評価作業に入っていたいただき、申し訳ありませんでし</p>	

た。改めて資料に沿って簡潔に説明させていただく。その後グループに分かれて、評価内容の確認や実際の評価を行ってわかった課題や疑問点などを話し合っただき、最後にグループごとに評価の進捗状況や派内遭った結果を報告していただきたい。

なお、評価の基準点の見直しについてもご意見をいただきたいと思っている。

今回、各委員からいただいた評価結果をまとめたところ、各課評価、施策評価ともA評価の割合が非常に高かった。また「計画内容」「執行状況」「課題把握」のうち、Aが1つBが2つの場合トータルでAとなることや、昨年委員が心配されたように、執行状況がCでも他2つがAであればトータルでAとなる事例が今回実際にあったことなどから、トータル7点以上をA評価とするのは適当ではないと感じた。AとBが同数以上の場合をAとするのであれば7.5点以上がA評価となる。そのような変更案についてもグループで話し合っただきたい。

(前回資料 8-1～8-3 に沿って評価の流れや手順について説明。)

(委員同士の距離を空けながら、グループに分かれて確認作業等を行う。)

- 委員長：時間になったので、グループごとに話し合った結果の報告と、評価の修正等について報告をお願いしたい。
- 副委員長：Aグループで話し合ったのは、第3次計画ではなかった「施策評価」の書き方がなかなか難しく、もう少し考える時間がほしいということ、また今回初めて評価される委員の方からは、担当課による評価の記述だけでは情報が不足している、という意見がコメント欄にいくつか記載されていて、それについては事務局で確認をお願いしたい。それからやはりA評価が多いということ、また担当課評価の書き方が課によってまちまちで、執行状況を踏まえて次年度の課題を書いている課もあれば、担当課目標と次年度への課題が全く同じで、振り返りがきちんとできているのかと感じさせる課もあり、そういった点はどう評価したらよいのか、またそういう課に対しては事務局で何らかの調整されているのか知りたい。また第4次計画から7つの「評価上の着眼点」が作られたが、委員でもそれを意識して評価するのが難しかったので、担当課は果たしてそこまで意識されているのか、疑問に感じた。評価を通してでもよいが、担当課と委員会で対話などしながら一緒に進んでいくプロセスが取れるといいと感じた。全体としてももう少し検討する時間をいただきたいと思っている。
- 事務局：新しい評価方法での評価なので、ご議論いただいて修正する時間を取っていく予定である。ご質問については事務局にいただければ担当課に確認するなどしてお答えする。担当課との調整については気づいたところは行ったが、今年度目標と次年度の課題が同じであるとかいった点までは確認していない。確認するようにしたい。
- 委員：BグループもAグループと同様な意見が出た。他には具体的な事業の内容がわからないものは印象で評価せざるを得ないことがあり、協働コミュニティ課の評価コメントなどを参考にしながら、評価に必要な情報を事務局に出してもらおうなどしたうえで評価していく必要がある。

る、と感じている。

- 委員：担当した箇所について、昨年の委員会評価コメントに対するレスポンスが全くないものがあったので、取り組んだのかどうか知りたいと思った。それによって評価が変わってくと思う。また、条例設置委員会の設置の検討について、かなり昔から検討が進んでいないが、設置をしたいのか、できるのかがあいまいだと思った。最終目標がはっきりしているとそれに対してどれだけ進んでいるかがわかり、評価ができる。
- 委員：Bグループの担当した箇所は、市民生活に密接に関係するものが少ない分、市の取り組みに対してデータベースとの比較や市民目線での評価などが多くなり、いずれにしても厳しめの評価になる気がした。
- 事務局：事業内容や数字など、必要なものは事務局で調べるのでお尋ねいただきたい。委員会評価が担当課に届いているのか、ということについては以前から指摘をいただいていることで、事務局から担当課にもっと働きかけるようにしたい。
- 委員：Cグループではお互いの評価を見てもう一度自分の評価を見直してみようということになっている。新しい評価方法については、「計画内容」「執行状況」「課題把握」が同じ比重でいいのか、例えば極端な例として「計画」と「課題」はしっかりしていても「執行」がゼロだった場合など、どう評価したらいいのかという話になった。また執行内容についても、前年度に比べてよくなったのかがわからないので、少しでも良くなっていればA評価とか、変わっていないからB評価とか、そういうことも判断材料になるのではないかという意見もあった。
- 委員：評価の基準点については、7点以上はAというのはおかしいという話になった。個人的には全部AならAとか、厳しくつけたほうがいいと思う。また前年度の課題を踏まえて担当課目標を立てられているのか読み取れない。また、担当課単位で評価すると複数の事業がある場合、執行状況に差があると、一方はAで一方はCだとトータルしてBなどとなるが、委員会が望むのはCをBに、BをAにしてほしいということなので、そういうことが伝わるような評価をしていかなければいけないと思う。
- 事務局：新しい評価方法を決定したところではあるが、実際に評価をしてみて課題があれば、修正したい。「計画」「執行」「課題」の配点の見直しも含めて事務局で検討したい。担当課目標は前年度の課題を踏まえて立てられています。
- 委員：担当課が前年度の課題を踏まえて目標を立てた、ということが見えないと評価できないので、前年度評価も見えるようにしてほしい、ということです。
- 事務局：新しい委員の方もいらっしゃるので説明させていただくと、昨年度第4次計画の評価方法を決定するにあたり、それまでの事業単位での評価では細かすぎて全体として男女平等参画が進んでいるのか把握しづらいので、事業より大きな施策単位で評価することになったが、担当課にも委員会評価を届けることで取り組みを進めてほしいということがあり、課単位での評価は残すことになった経過がある。複数の事業をまとめて評価するのは確かに難しく、課題であるが、コメントで補足していただきたいと考えている。
- 委員長：各グループとも報告ありがとうございました。

評価の修正について、スケジュールが決まっていれば事務局からお願いしたい。

- 事務局：ご質問などあれば事務局に寄せていただき、評価の修正については10月16日までに提出をお願いしたい。

(3) その他

- 委員長：委員会の開始時間の変更案について、事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局：毎回確実に開始時間に間に合わない委員の方がいらっしゃるので、開始時間を15分遅らせたい。委員会の時間も新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えるため短縮されていることから、それでも通常の委員会の終了時間より遅くはならないので、影響はないと思われるが、ご意見を伺いたい。
(異論なく承認された。)
- 事務局：重点課題別評価については事務局で担当を決めさせていただいた。
次回の各課評価を受けて、その次の委員会でご議論いただけるようにしたいと考えている。
担当になられた方は初めての方も多いため、前年度のものに目を通していただくなど、準備をしていただければと思う。
- 委員長：本日はこれにて散会する。お疲れさまでした。

【閉会】